

# Arabia Knight

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



# Arabia Knight

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



強きを挫き  
弱きを助く

民衆の味方  
怪盗アリババ

だが  
その実は

# 1巻 Arabic Servant あらすじ



色狂いに  
調教され

先代の悪政ツケを  
解消しようと  
暗躍する領主の  
下僕だった



一緒に住んでいる  
孤児たちには

秘密だ

でもそんな事  
民はもちろん

# 2巻 Arabic Bandit あらすじ

アリババに  
下った命令は  
行方不明者の  
搜索

疑わしい  
人物を尾行  
したら

惚れられて  
捕まって

汗くさい体臭に  
混じる魔術で  
心をいじられ

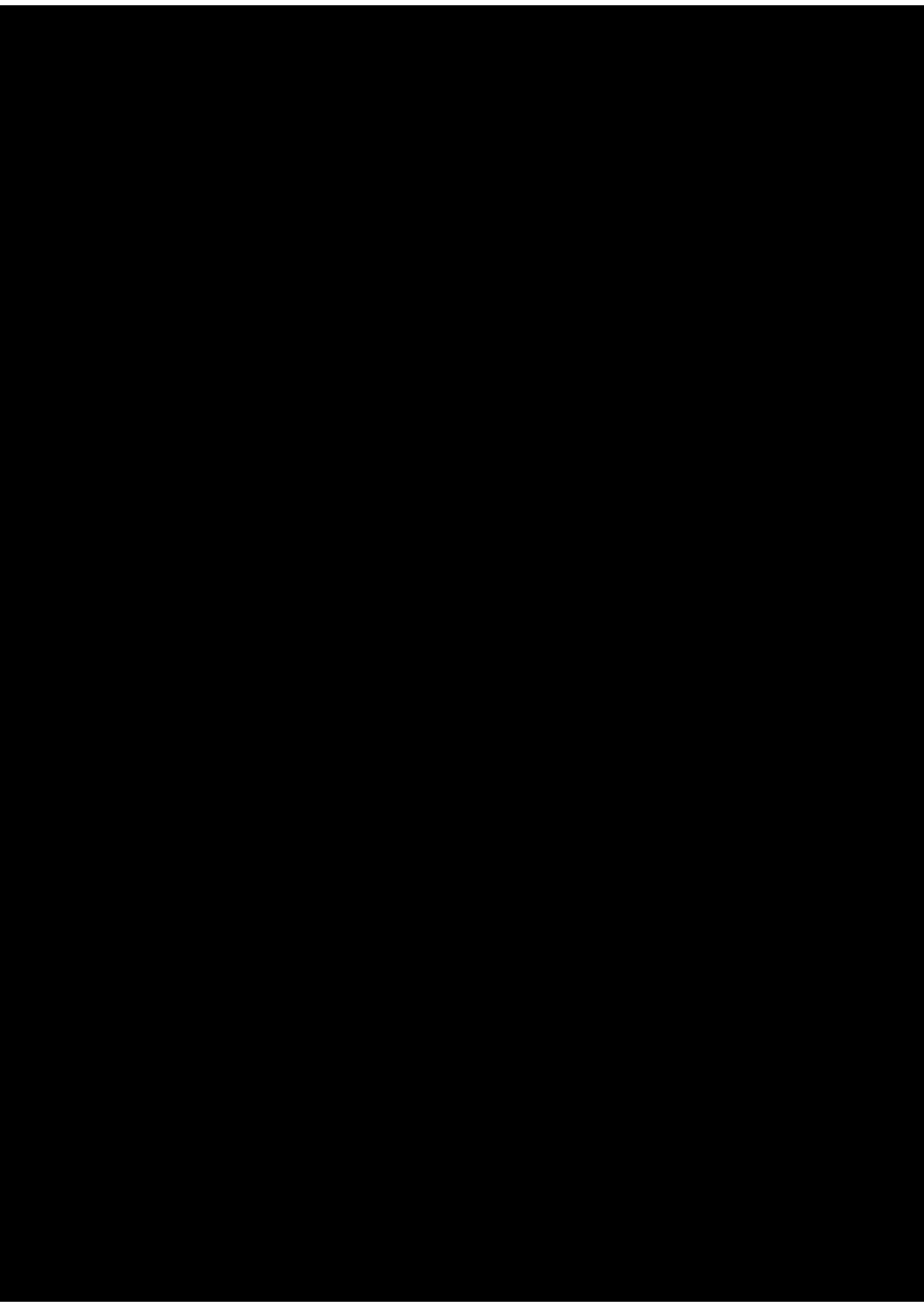
心まで  
盗賊カシム  
ものにされ  
てしまった

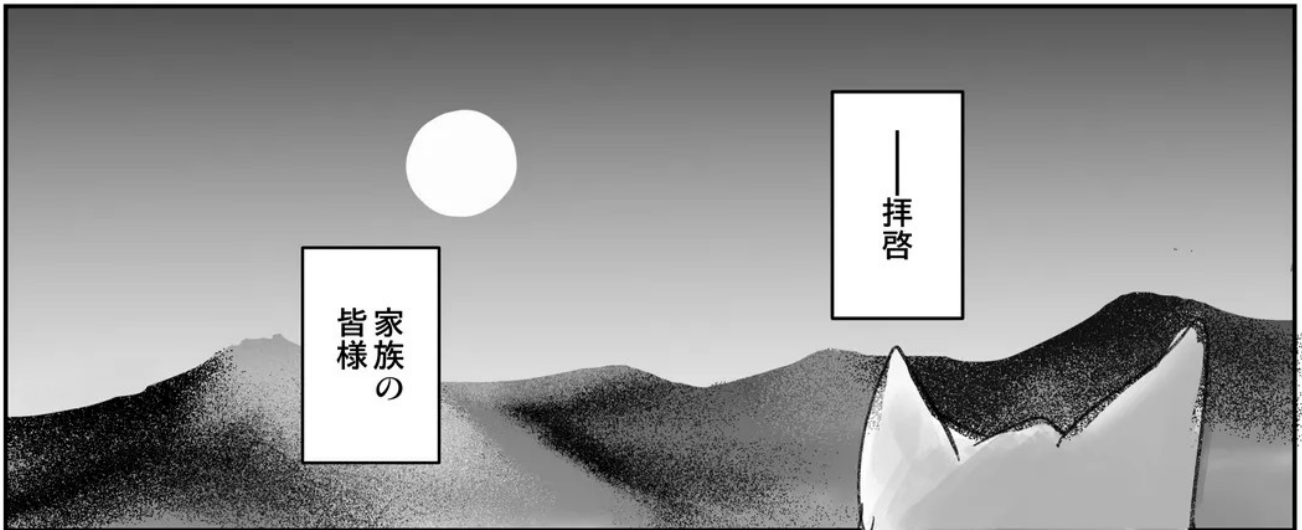
あらかじめ  
施されていた  
対魔術装備で  
正気に戻れたが

てくしょう!!

カシムからの  
ガチめの求愛に

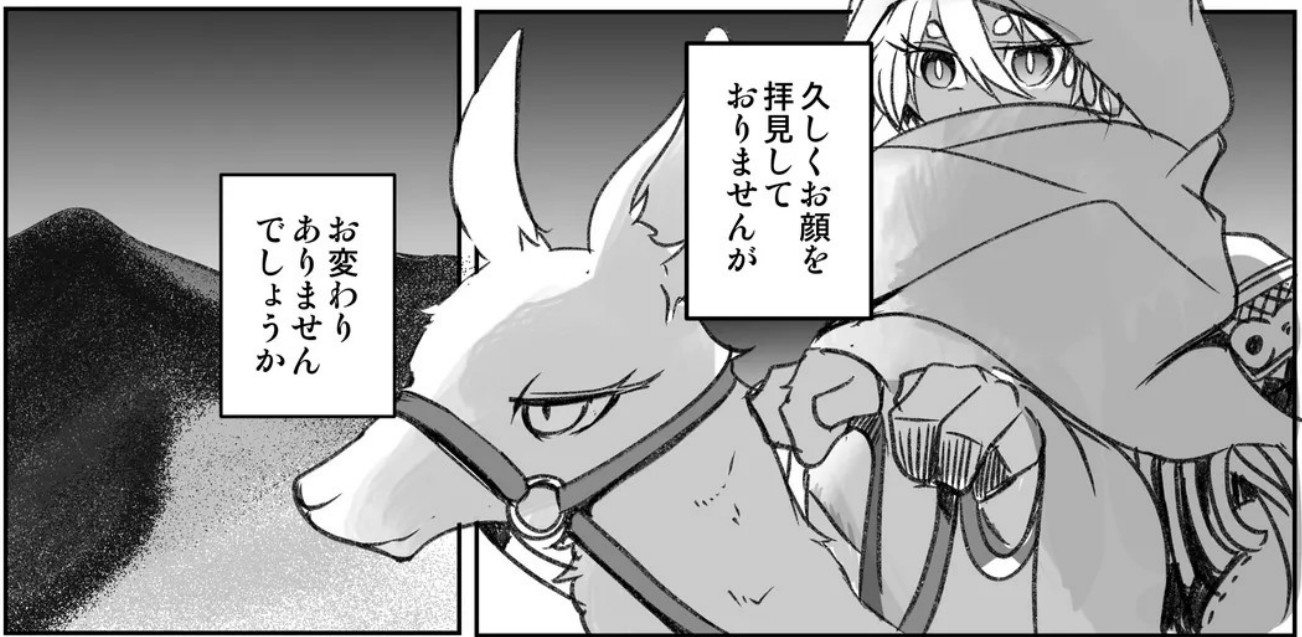
アリババは  
戸惑うの  
だった





— 拝啓

家族の  
皆様の



久しくお顔を  
拝見して  
おりませんが

お変わり  
ありません  
でしょうか



今は隊商の  
忘れ物を  
届ける為

町を遠く離れ  
砂漠を進んで  
います



雨が降れば洪水  
砂嵐でも足止めと  
思うように  
進みません

日が昇れば眠り  
日が暮れたら  
移動し

見渡す限り  
の砂漠は  
とても幻想的  
ですが



皆様に  
想いを馳せて  
おります

その度に  
月を眺め  
ながら



なんだよ  
つれないな！

もう！  
近付くな！



なに  
ぼーっと  
してんの

せっかく  
俺様と一緒に  
旅してらつてのに



しゅ  
たっ

ほんと  
お堅い  
んだから

楽しく  
やろうぜ

誰が  
お前  
なんかと！



仕事だから  
一緒にいる  
だけだ！

油断したら  
どうなるか  
わかったもん  
じゃない！

疑われてる  
なあ…



一度は恋人みたい  
に濃厚な中出し交尾  
した仲じゃないか

そりやお前が  
魅了の魔術  
かけたからだろ！

正気なら  
あんな…  
あんな…！

でも  
相性は抜群  
だっただろ？

…っ！



それも  
いいさ

…それに  
俺は盗賊だ



はーっ

まあ  
あの領主が  
対策してやがる  
からお前には  
手出しでき  
ねえよ

対策？

お前に悪さ  
しようとする

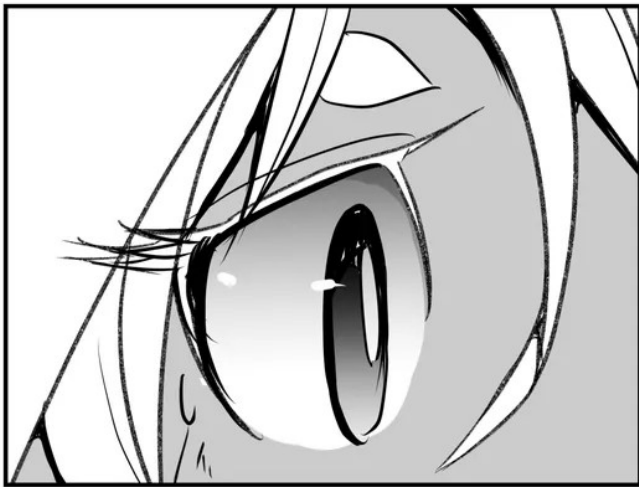
ちんこにつけられた  
リングが締め付けて  
最後にはもげる

あ  
地獄



自力で  
奪うよ

本当に欲しい  
物は



……  
っと  
計算どおり



いや台詞が  
くっさいわ  
アホか



なんてね  
惚れたた？  
惚れたた？



キャラバン  
隊商か——

見えたぞ  
あれが



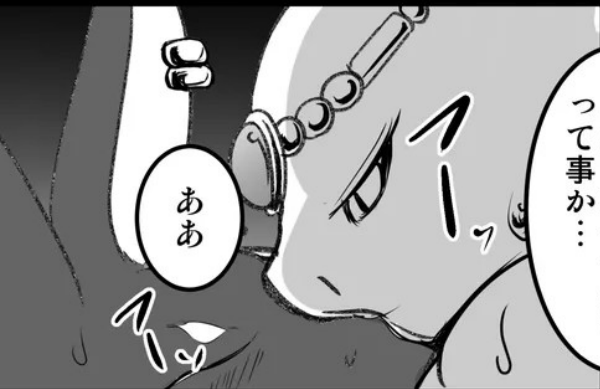
…盗賊？



おそろく…  
としか言いようが  
ないが

…盗賊？





ああ

だから  
それを調べて来い  
って事か…

ん  
ん  
ん

それも  
可能性だ

集団的に  
魔術をかけられ  
てるかもって事か



てめえ

だが魔術に  
関してお前は  
糞の役にも  
立たぬ

ん  
ん  
ん

具体的には  
どういう手段か  
確定情報がない



ぬ

呪術の  
スペシャリストを  
雇う事にした



だから  
今回の件は



ばば...  
馬鹿じゃないの!?

つか犯人  
こいつだろ!

なんだ  
パートナーは  
マイハニーか

ついでに  
つがいに  
なつてくれ

裏は取れている  
犯人はこいつ  
ではない

だから!  
そういう  
ところ!

そもそも  
お前手配犯  
だろ!



だがアリババは  
私の物だからな

念の為お前の  
体臭では惹きつけ  
られないように  
細工してある

ちっ...



アリババは本来  
「接待」の時に  
権力者が楽しめるよう  
精神系の魔術や薬へ  
極端に弱いのだが...

...まあ  
その辺りは  
いいか

肩からに  
怪しくても



実は逃走した後  
仲間を助けに  
地下牢へ忍び  
込んで来たから  
捕まえたのだ

この件解決すれば  
仲間もろとも  
開放してやる  
っつのは嘘じゃ  
ねえな?

ああ



カシム  
お前は腕っ節も  
強いと聞いている

だよな？

はひっ！

間違いつ  
ありません！

ん？  
聞こえんな

はひっ！  
そのとほり  
でしゅっ♥



はあ…っ  
我が領地は  
人材リソースが  
枯渇している…っ

借りられるなら  
悪魔の力だつて  
借りたい位にな

優秀な者は  
歓迎するぞ

合意の上なら  
アリババとの  
交尾も許可  
するが…

おっ

絶対ない



うっ…  
出る…！  
中に出すぞ…！

あっ  
おっ♥♥

メスになるっ！  
メスに  
なるうっ…！！♥

…いつも  
こんな感じか？

だん！  
だいたい



とにかく  
出かける準備を  
して来い

水食料もラクダも  
手配済みだ

西の町の領主へ  
紹介状を書いて  
おくから隊商を  
見つけられなかったら  
そっちに向かうといい

それとアリババ  
お前には着替えも  
用意しておいた

私好みに  
扇情的に  
過ぎるからな

ついでに  
カシムの魅了魔術  
抵抗力も強化したぞ

準備次第  
すぐに  
発ってくれ

アリババ  
お前は家族へ  
ちゃんと  
説明しとけよ

……  
ああ

という  
わけで

これが  
我が領主からの  
紹介状です

ここから町まで  
同行させて  
いただきます



ああ…  
ありがとう  
ございます

護衛してただけるのに  
費用まで自己負担  
いただいでして…

ここまで大変だった  
でしょう  
とりあえず砂嵐が  
おさまるまで  
お寛ぎください



ええ  
もちろん！



あつ！  
そういや  
どこいった  
あいつ！！

あれ  
そういえば  
お連れの方は？



落ち着いたら  
隊長の所へ  
挨拶に行き  
ましょう

西の町の水は  
透き通っていて  
美味しいですからね



お水は  
いかがですか？

喉カラカラだ！  
助かります！









お二人で話もあるようですし私は荷降ろしを手伝ってきますね

ああ

あ



…という事で私の知り合いです身元は私も保証しましょう

それはよかった!



洗礼は済んでいますよね?

勿論です

ただもう1人お連れの方はまだ…

見つけ次第すぐに

頼むよ



あなたは2年前亡くなった筈です



…さて人払いは済みましたよ

…なぜこんな所にいるのか詳しくお話ください

我が祖国  
第3王子

カマル・  
シャープフル様!



とかか跪く  
必要はないよ

僕はもう王子  
じゃない

あとその  
呼び方は  
やめてくれ

元我が騎士  
マルジャーナ



モリス

乳首に  
装飾など!

何ですか  
その破廉恥な  
格好は!



い  
ろ  
?   
というか



相変わらず  
堅いなあ...



私:  
実はこの隊商の  
隊長でもなんでも  
ないので



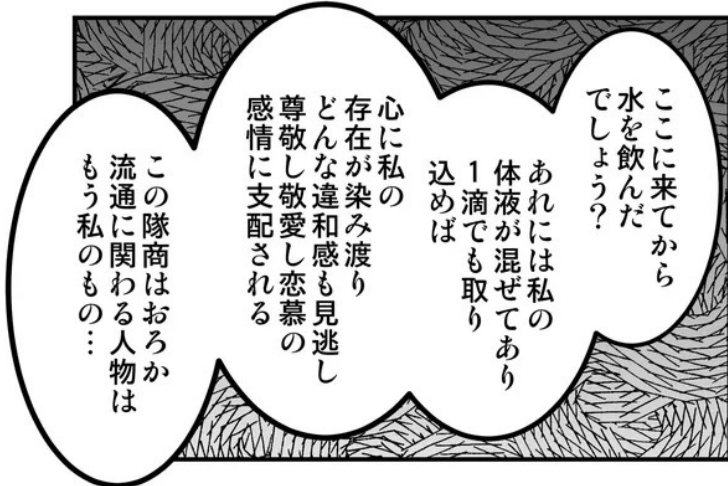
かしこ  
まりました

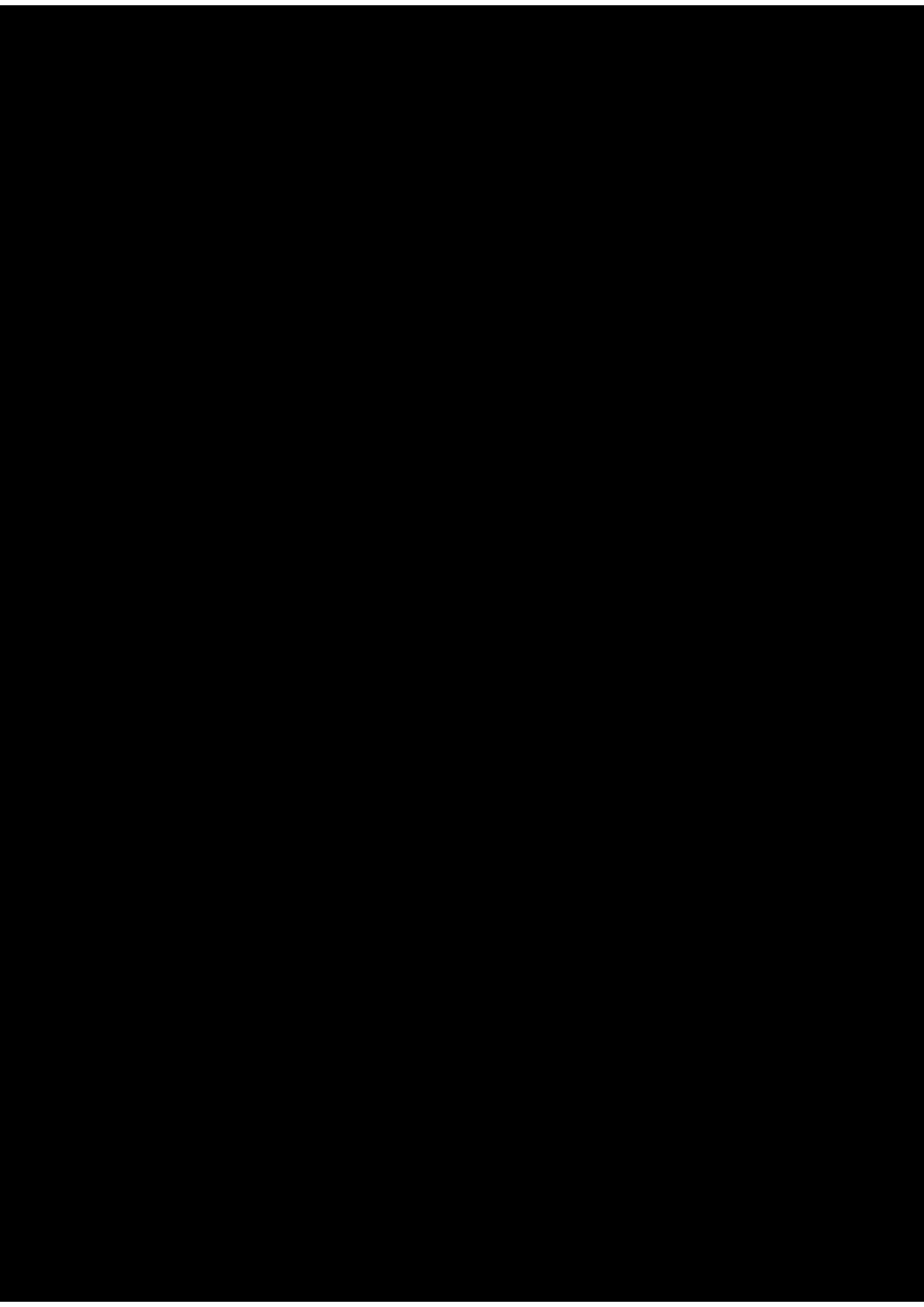
しかし何故隊商に?  
君なら兄上の  
即位に伴って  
騎士団長にでも  
なっている頃だろう

ああ  
その事  
なんですがね



え?  
...え?







クツソー  
あの馬鹿

ちよつと  
姿くらませた  
だけで締め付け  
やがって…



ちんこマジで  
もげるぞこれ…  
いてててて

…しかしこの隊商の  
奴等は文句言わず  
働くねえ

だが隊商1往復分  
にしては物資の量が  
多過ぎる



こいつら自身が  
ここに運び込んで  
いたのか…  
そして覚えていない

それにさつきから  
効力が強い魔術の  
においがする…  
粘膜接触しやなくて  
摂取型だな

対象に多幸福感を  
与えて依存もさせる  
やべーやつ…

つてうおっ!?

お連れ様が  
隊長の所で  
お待ちです

ご案内致します

気配がねえ!?

あ…  
いや俺は…

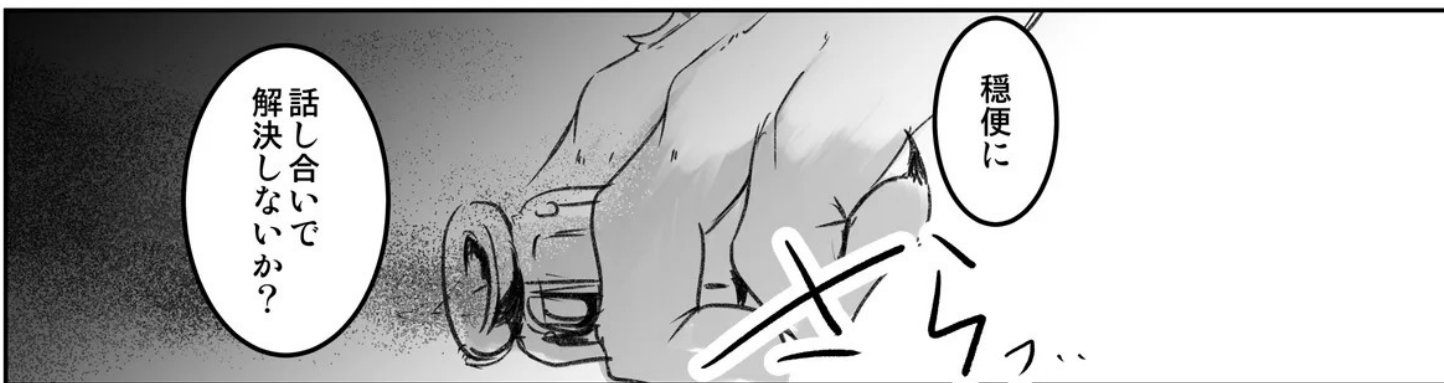


…どうやらもう  
お気付きの  
ようですね

少し手荒に『洗礼』を  
施してやらねば  
ならないようです

あゝ…  
これは  
面倒だな…

荒事は  
苦手なんだ



穩便に

話し合いで  
解決しないか？

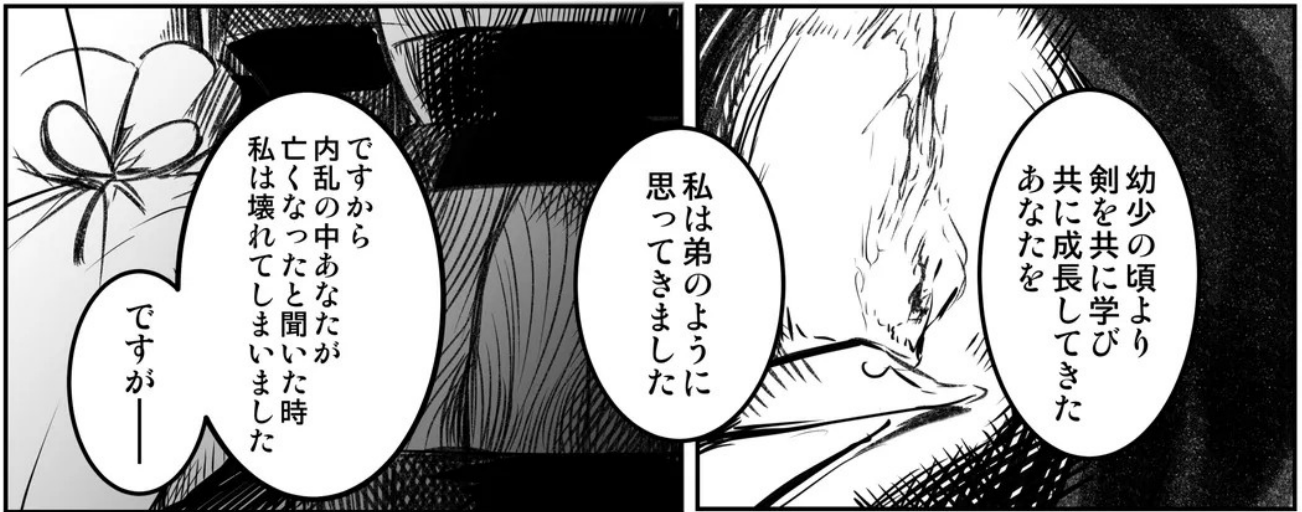


ずっと…



ずっと  
ずっと…

お慕いして  
おりました



幼少の頃より  
剣を共に学び  
共に成長してきた  
あなたを

私は弟のように  
思っていました

ですから  
内乱の中あなたが  
亡くなったと聞いた時  
私は壊れてしまいました

ですが――



この想いを  
汲み取ってくれた  
宮廷魔術師様が  
私に力を与えてくれた

生きているかも  
しれないという  
希望となる情報  
と共に

いっ  
っ

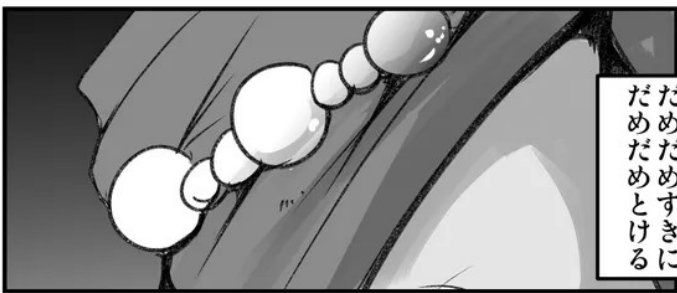


そして  
生きていた！  
こうして  
私の物に  
なった！

王子：  
王子！！  
王子！！

ぼっ  
っ

アッ  
っ





ごしゅじん  
さまが…  
…あれ？



はい  
はい



しかし股間が  
強におきますね…

見て  
ください…



…ああ

王子…  
王子…  
王子…!

王子王子  
王子王子!!

我慢!!  
できません!!

びん

しゅる  
しゅる  
しゅる

しゅる  
しゅる  
しゅる



王子の  
においが!

下着越しても  
生臭いすっぱい  
いやらしい…

私の王子…  
かぐわしい…

すん

ん



こんな下品な  
においをさせている  
ちんぼの王族なんて…

恥ずかしく  
ないのですか!

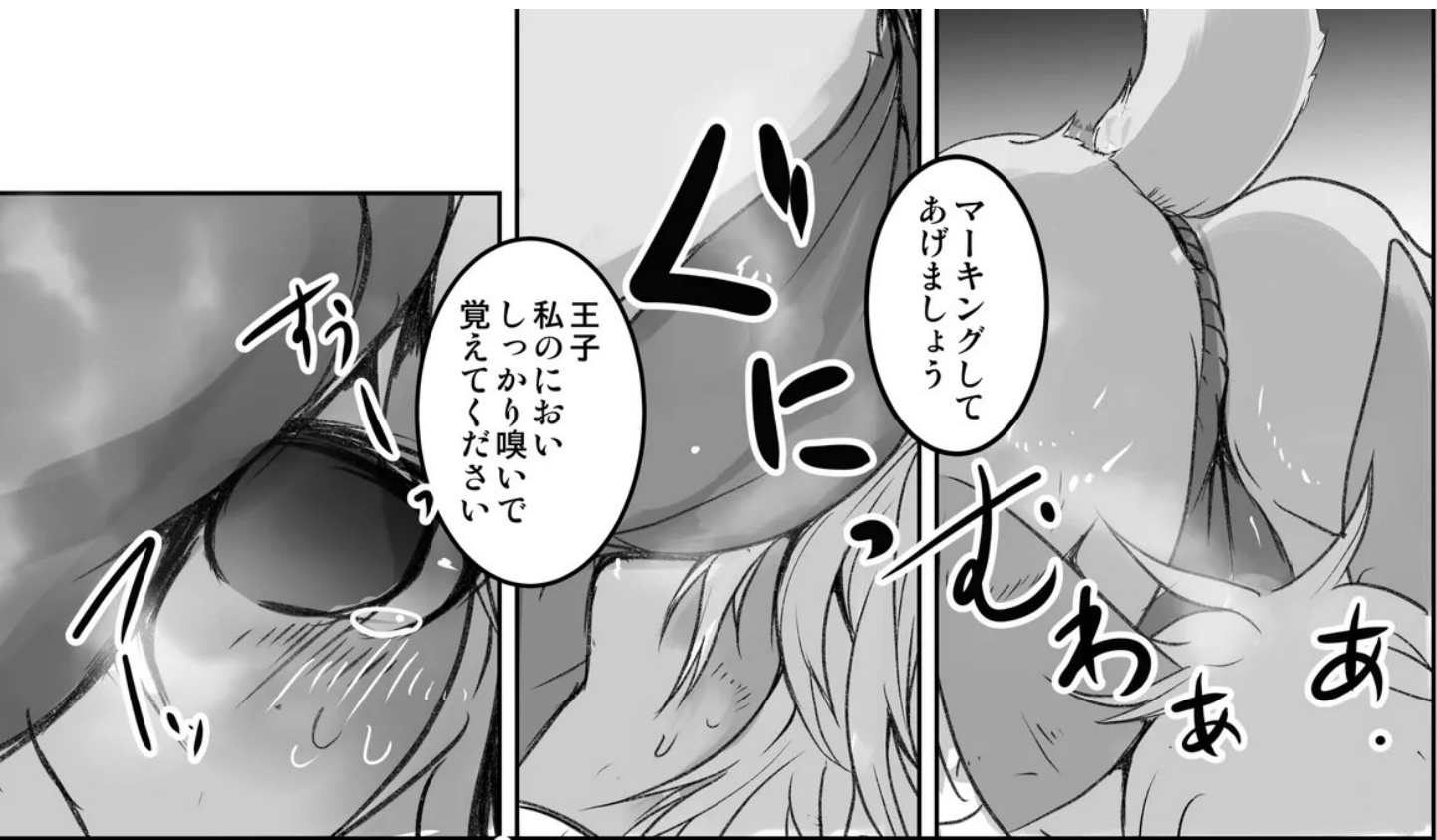
すんすん



ああ…いいですよ  
成長してきますね…

はい

く  
く



マーキングしてあげましょう

王子私のおいしっかり嗅いで覚えてください

ぐに

むあああ



おや...

だいぶ臭い筈ですが...

積極的に嗅いでくれますね

ぐに

お

お



もともとこういう事が好きなのです

まったく変態に成長してしまつて...

ふふふ...

さて下着越しではもつたない...

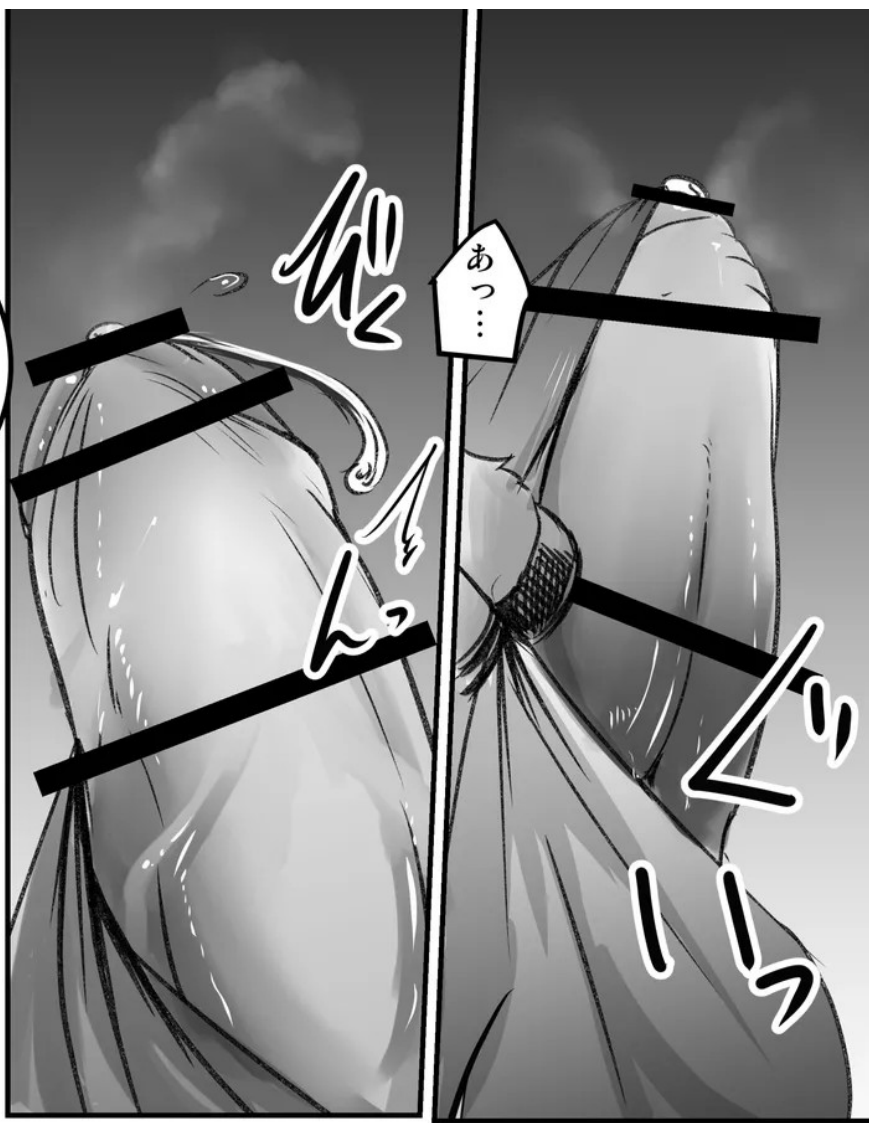
立派になった王族ちゃんぽを見てあげましょう

ぐに



暑かった  
でしよう  
蒸れて  
いますね…

被って  
中がとても臭い…  
恥ずかしく  
ないのですか？



あっ…

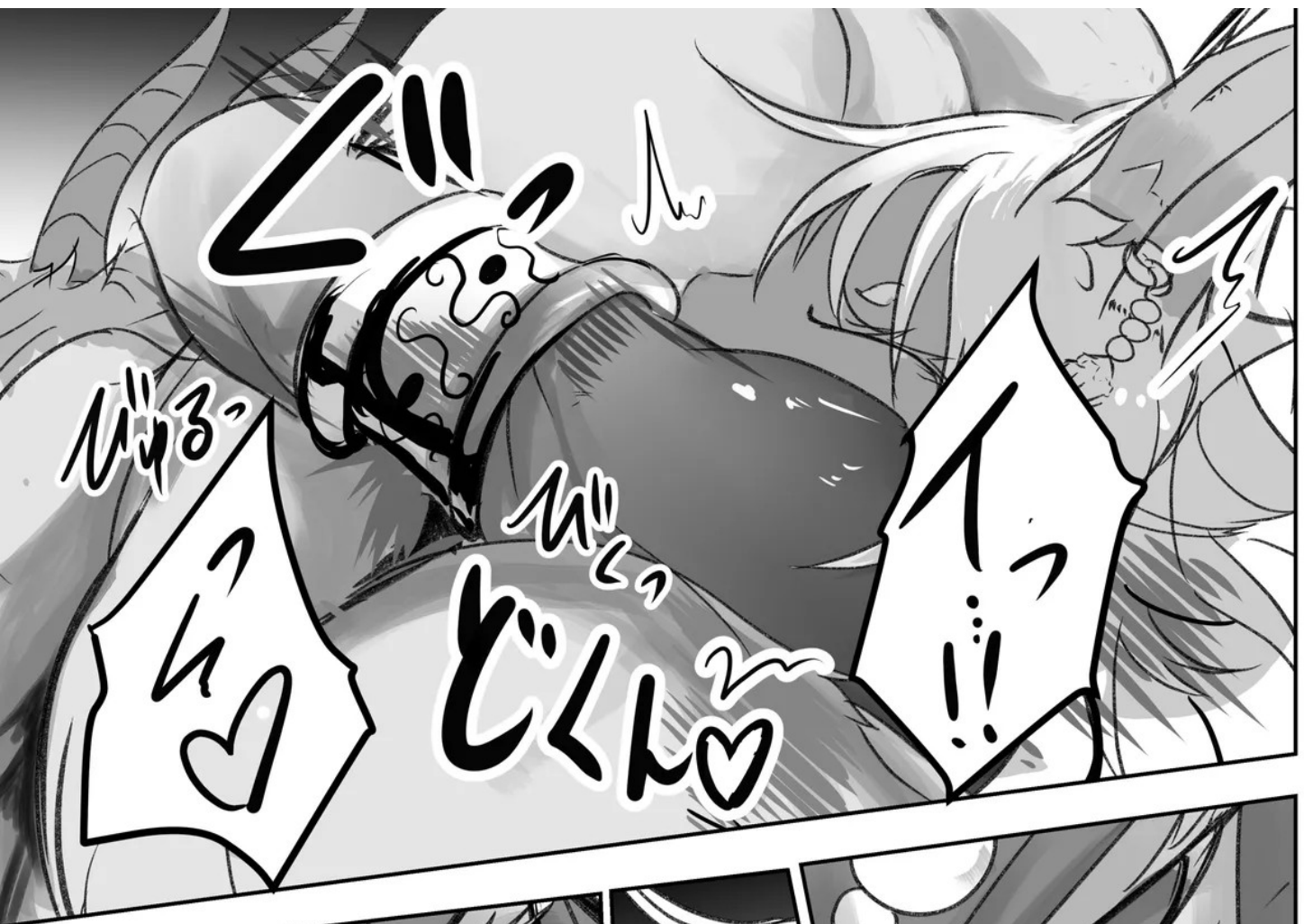


しかし私は  
あなたの忠臣  
であり主人

もう子作りには  
使われたい  
王族ちゃんぽでも  
愛しましょう…











それでも  
念の為

舐めて  
ほぐして  
あげます  
からね

ぷっくり膨れて...  
使い込んでいますね

やっ...!  
汚いから...

ん

あ..  
あ..



あ..  
あ..

ぐに

王子に汚い所  
なんて  
ありませんよ

にゅ



ぐに

じゅ

ず、















いつてすぐなら  
油断すると  
思ったんだが…

っ!  
!?



面倒くさかった  
から眠って  
もらったよ

基本俺様は  
働きたく  
ないんだよ



しかし  
お前…

「それ」  
どうなって  
るんだ?



めんどくせえなあ…  
その身のこなし  
剣術を修めてるな

アリババは案の定…  
想定内って感じだな

貴様が  
もう一人か

我が  
部下は  
どうした

ほや、



何者かに  
植えられたな

魔術というか  
呪術の類だ



魔術の心得も  
なさそうなお前が  
胡散臭い洗脳を  
使えているのは

その「眼」の  
お陰だな

はははは  
これが私の力  
王子を得る為に  
いただいた力だ！

あー  
正気だといふ  
ないやつだ



粘膜から  
引き剥がして  
しまえば効果を  
得られなくなる

こいつは  
生体に寄生  
させて感情を  
糧に魔術を発動  
させる義眼だな

胸糞悪いが  
えぐり取るのが  
確実だな

何を  
ごちゃごちゃ  
言っている!!

貴様は私自ら  
下僕に変えて  
やろう!!



僕は媚薬とか  
従属系とか  
侵食系の効能に  
とても弱いんだ

そういう趣向の  
輩が楽しめるよう  
仕込まれたからね

いっ  
ろが



…けど  
どんなに色狂いに  
なっても

絶対に正気を  
失わないよう  
耐性をつけられ  
ている



悪いね

い  
ろ  
が



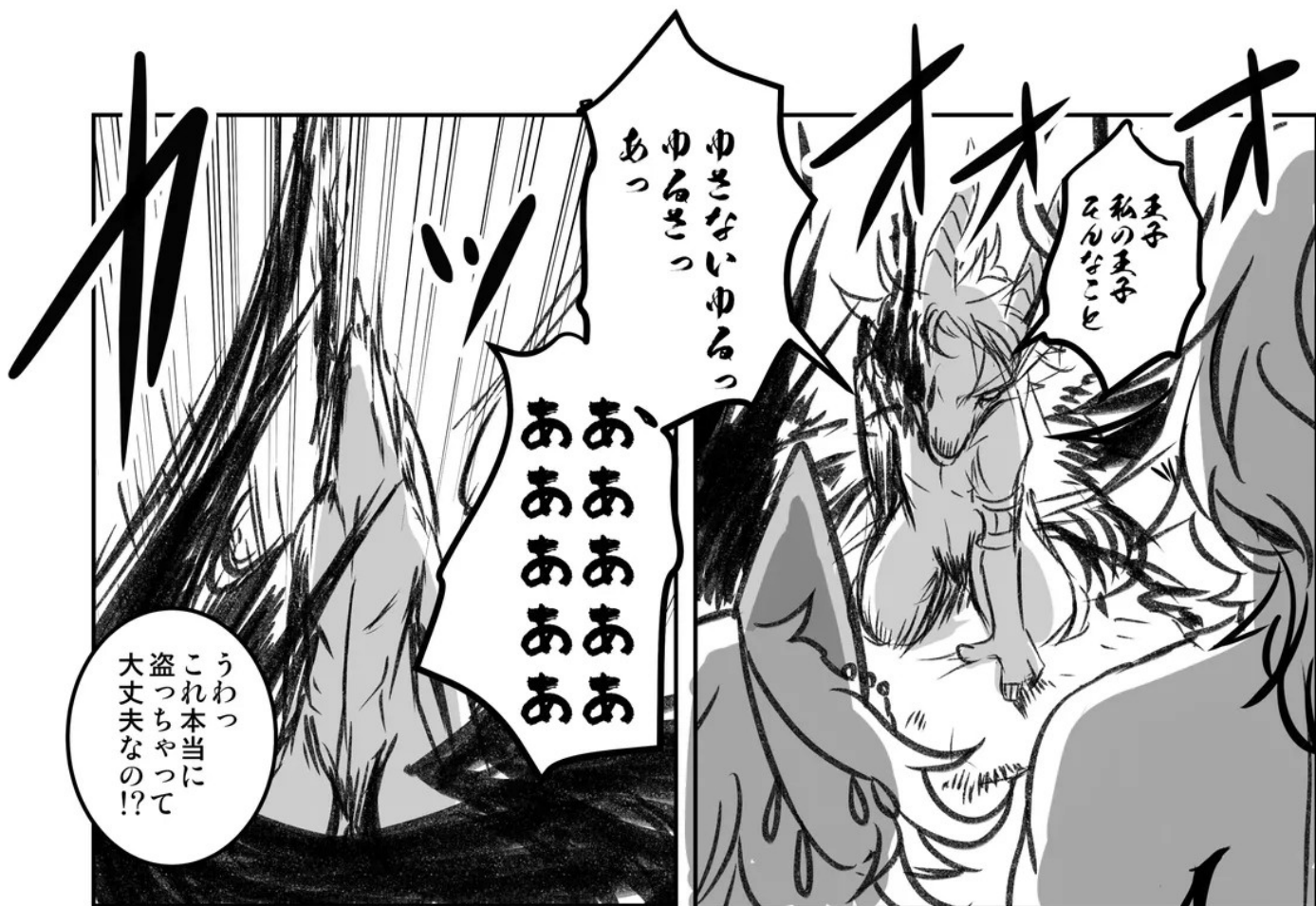
なるほど

ア  
ッ  
え



なっ…!

何故…  
あなたが…!



玉子  
私の玉子  
そんなこと

ゆきないゆき  
ゆるさ  
あ

あああああ  
あああああ

うわっ  
これ本当に  
盗っちゃって  
大丈夫なの!?



何も聞き出せ  
ないだろうが  
この男を確保  
すれば依頼は  
完了だな



あとの処理は  
あのプタに  
任せよう

お前が  
汚されたのは  
癪だが…



?



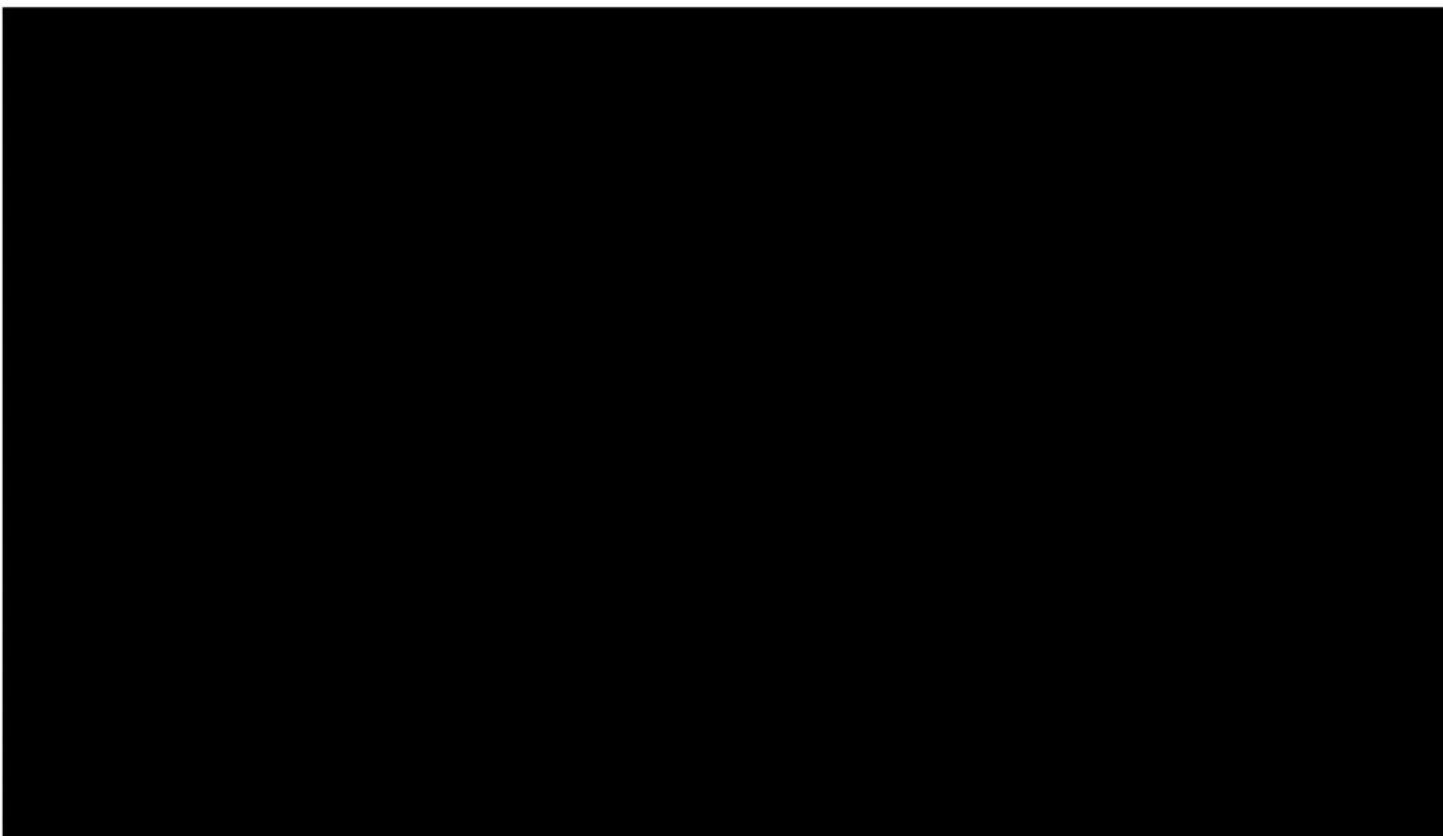
あつ…  
こつちも…

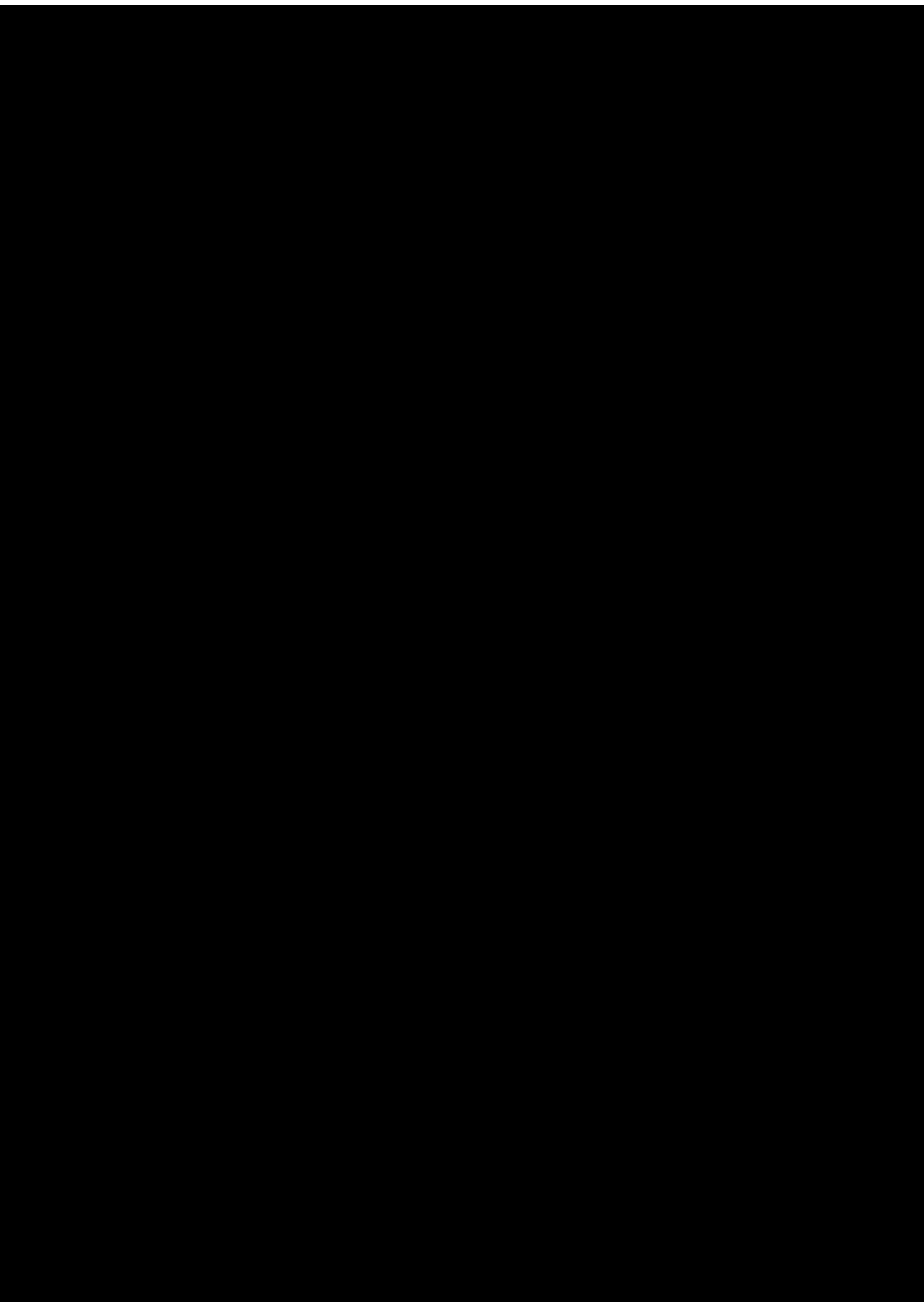


アレはあいつに残った  
魔術自体が焼けている  
だけだ

あいつにそれを  
渡した術者を  
特定できない  
ようにな









マルジャーナの  
身柄を引渡し

疲れ果てた僕らを  
いつもどおり  
領主が呼びつけた



分析される前に  
自己消滅していたから  
どこの誰がアレを  
仕込んだかまでは  
わからなかった

この分だと消滅したことを  
術者本人に伝達する  
式も含まれているだろう  
何を探っていたかまでは  
わからないが  
ろくなことになる  
気はしない



義眼に収められて  
いたのは主人に  
従うことで  
幻覚成分シロシピンと  
覚醒成分カチノンを  
生成する魔術生物を  
生み出す代物だった

感情と結び付け  
無限に魔術生物を  
生み出し続ける  
下衆な物だ



主人であった  
あの男は比較的  
影響が少ない  
従わせる側  
だったからな

隊商の隊員たちは  
すぐの復帰は  
無理だろう  
全く性質が悪い

除染はしているが  
意識があるのは  
マルジャーナ  
だけだな



マルジャーナからは  
何も聞き出せず  
覚えてもいない  
ようだがひとまず  
保護観察としている

アリババ  
お前に伝言だ

謝っても謝り  
切れない過ちを  
犯してしまった

合わせる顔がないが  
いつか必要な時  
必ず償いに伺います



別に  
何でもないよ…



…  
そうか



のっし

俺様が  
いるだろ

なんだよー  
幼馴染にアレされて  
複雑な感じ  
出しちゃって

あーもー  
ホント  
やめて



それとアリババ  
あの男のおいが  
染み付いているから  
湯浴みをしろ

時間経過で  
じわじわ侵食  
してくる魔術が  
組み込まれている



うちの身内どもは  
もう釈放して  
くれたんだよな？

それじゃあ  
俺様は晴れて  
無罪放免  
御暇するぜ

ああ  
そういう  
条件だ

お前は保釈  
だからリングは  
外すなよ



ぼれてら！  
くっそちくしょー  
このつブタツ！  
絶倫！  
ちんぼやろう！

二度とお前の  
仕事なんて  
請けないからな！

…絶対また  
呼ばれるな

絶対また  
呼んでやろう



物質的精神的  
限定的にも平穏と  
秩序をもたらず  
裏返しに強力な魔術

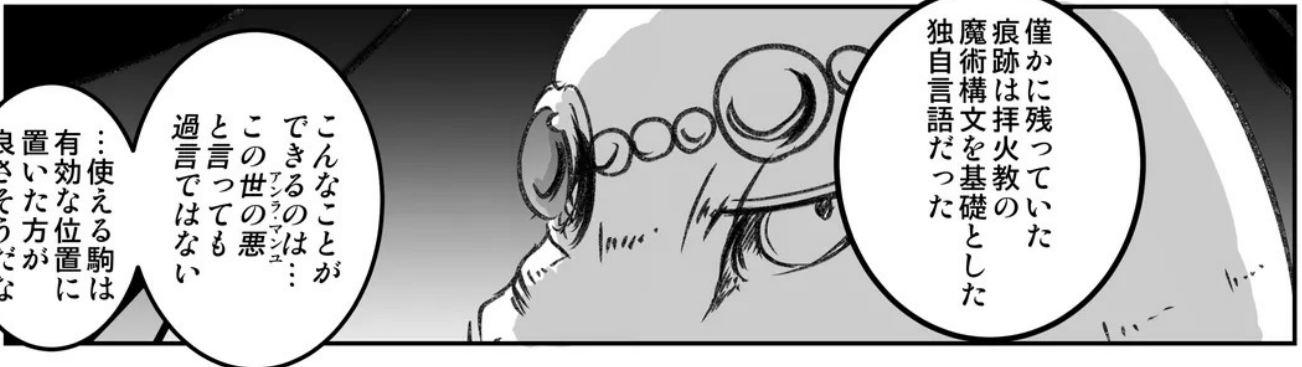
でー  
ひゅー  
うん

諸に  
入るかん

何より手口が  
悪辣すぎる…

既に死んだことに  
されていて権力闘争にも  
利用できない  
第3王子を捜させていた  
意図がわからないな

しかし…



僅かに残っていた  
痕跡は拝火教の  
魔術構文を基礎とした  
独白言語だった

こんなことが  
できるのは…  
この世の悪  
と言っても  
過言ではない

…使える駒は  
有効な位置に  
置いた方が  
良さそうだな



ところで  
お前ら

湯浴みを  
するのなら  
私も一緒に  
入るぞ

香油を  
持て!

はい

うわもう  
やな予感しか  
しない!



ただいまー

兄ちゃん  
かえりー  
長旅お疲れ様

丁度良かった  
お隣さんが…



左に引越してきた  
カシムと言う者だが…

よろしく  
おなっしやーす



右隣に  
引越してきた  
マルジャーナです

どうぞ  
よろしく



あの大変申し訳  
ないのですが  
領主様からここに  
引越せと言われて  
護衛の兼ねて  
ようで本当に色々  
ごめんなさい  
すみません

あの領主  
確かに仲間を釈放  
してんだが  
家と仕事与えやがって  
全員安定した生活  
させてやがる！  
インフラセイビ？  
どくわかさん…



お前初対面だけど  
やばい魔術とか目に  
入れてそうだな



それでその賊は  
カマル様に危害を  
加えようとして  
ますか？



ああん？  
やるか？

なんだ貴様



◆あとかき◆

相変わらずニッコ  
地獄を見た。  
いつか続きを書きたいですね。

キャラクターデザイン協力 春夏(@aruuraaru)  
本当に助かりました。  
元絵の可愛さをもっとみきだしていきたい…!

2019/8/11 むいな

既刊はデータ版作りました  
よろしければなにとぞ



◆Arabic knight◆

- ・発行 ; のっぺら工房 むいな
- ・発行日 ; 2019/8/11
- ・印刷 ; 栄光様
- ・Mail : mujina@krc.biglobe.ne.jp
- ・Pixiv : 73354
- ・twitter : mujiiro

この本の一部または全部を複製、複写、インターネット上への無断アップロードを禁止いたします。



# **NOPPERA KOUBOU**

